

ナガヒラタムシ

Tenomerga mucida (Chevrolat)

コウチュウ目ナガヒラタムシ科

石川県カテゴリー 準絶滅危惧

国カテゴリー なし

選定理由

局地的分布を示し、開発されやすい里山に生息する。近年の発見例は少ない。

形態

体長は9~17mmで長い鋸歯状の触角を持っている。体形は細長く、両側はほぼ平行である。体色は赤褐色で、上翅はやや黒い小顆粒でおおわれている。

国内分布

北海道から南西諸島まで広く分布する。

県内分布

能美市、白山市、金沢市、珠洲市から得られている。

生態

幼虫は腐朽菌に侵された立ち枯れや倒木に生息し、成虫は7~8月頃、伐採木や立ち枯れ木で見られる。また、成虫は灯火によく飛来する。

生息地の条件

平地から山地の枯木や倒木が多い所に生息している。

生存の危機

里山の開発が進み、生息環境は悪化している。(A)

特記事項

コウチュウ目の原始型を残している種として重要である。

参考文献

Miyatake, M (1985) Notes on the genus *Tenomerga* of Japan (Coleopt.:Cupedidae) Trans. Shikoku Ent. Soc. 17(1/2) : 1-4.

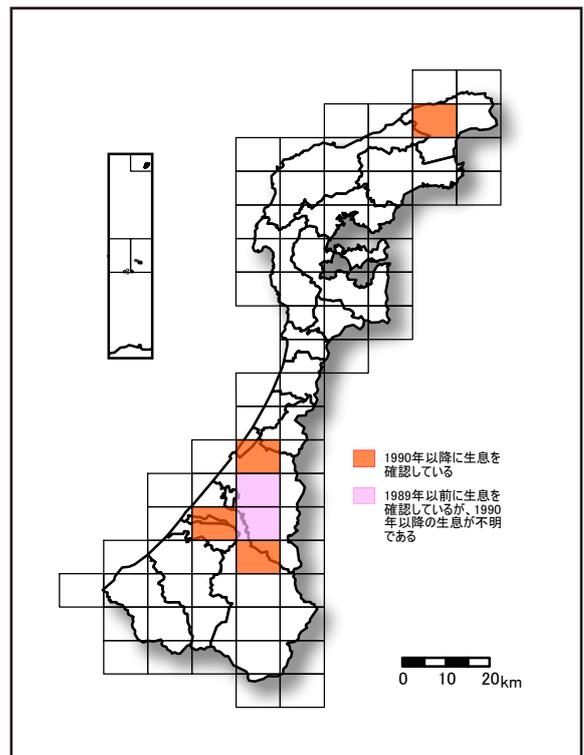
高羽正治. 1998. コウチュウ目. 石川県の昆虫 : 102-251. 石川県自然保護課.

高羽正治. 1999. 「石川県の昆虫」の追加・訂正(1). アカハネムシ, (27) : 5-6.

富沢 章・吉道俊一・浅地哲也. 2006. 能美市昆虫調査報告書 一辰口地区の昆虫一, 42pp. 能美立博物館.



標本提供者: 高羽正治



県内の分布